

IGES

エディター & バイヤーが公開

秋冬  
お買い物  
リスト

エル・ジャポン

10 OCTOBER 2005 No.252 特別定価 650YEN

第1付録

ビューティ  
完全読本

モデル & セレブのメイク術と  
最新スキンケアのすべて

ジェシカ・シン普森  
輝きの秘密

達人たちが教える  
っておきの  
タリア旅行

れ家ホテルで  
上の休日

ターシェフの  
食レストランへ

ローマ・フィレンツェ  
都市おしゃれマップ

画で旅する  
タリアの街

AN MODE SPECIAL

のモー  
タリ

ディ、フェラガモ、  
スクエアード、ミッソーニ、  
などイタリア発信の  
20ブランドから  
モードをお届け

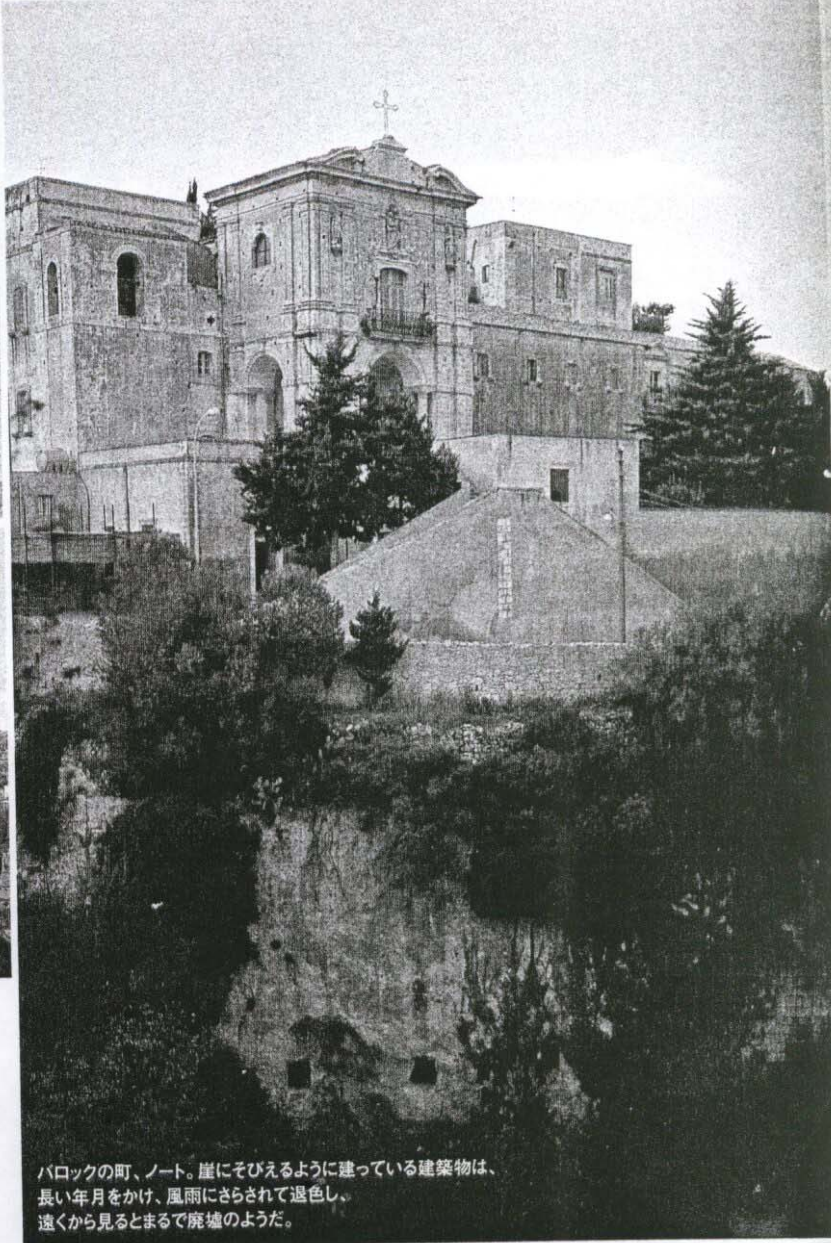
ベル・デュプレが  
ブランドをプロデュース!

イタリアに  
恋して

第2付録 プラダ BOOK 2005



モディカの町の建築には、バロック文化の華やかさがあふれている。よく見ると、それぞれに個性あふれた面白い



バロックの町、ノート。崖にそびえるように建っている建築物は、長い年月をかけ、風雨にさらされて退色し、遠くから見るとまるで廃墟のようだ。



光と影が美しい都市の威容をあらわにする。モディカの町もまた、バロック文化圏。暮れゆく町を眺めるのは最高にロマンティックなひととき。

島村さんのおすすめスポット

ANTICA DOLCERIA BONAJUTO

アンティカ・ドルチェリア・ボナユート

C. So Umberto I, 159 Modica (RG)

☎/📧 0932.941225 www.bonajuto.it/

アクセス シラクーサからモディカまで鉄道で2時間弱。

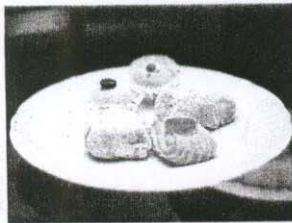
■1880年に創業した菓子店。

カカオ、砂糖、スパイスだけで作られたレアな古代チョコレートで有名。

16世紀にスペイン人が新大陸の

アステカ王国からもたらしたカカオ。

そこから始まった欧州のチョコレートの原点が味わえる。



RAGUSA ~ NOTO

島村菜津さんが薦める

シチリア南東部の  
バロックの町で菓子店巡り



ノンフィクション作家。イタリア各地に滞在し、『スローフードな人生』、美術・食・風俗をテーマにした著書を発表し、雑誌へ「イタリアの聖人」をテーマにした旺盛な活動を続け

られ、著作の取材のために二年のち半年ほどを過ごしてきました。この国の最大の魅力は、懐が深い人々。シチリアでは取材中に呼び止められ、見知らぬ外国人のわれわれを夕食に招いてくれた家族にも会いました。シチリアは近年、急速に観光にも力が入り、特に南部のラクレーサは激変。10年前までは廃墟のようだったバロックの町が蘇り、外国人も多く訪れています。南東部には老舗の菓子店が多く、バロック時代の焼き菓子なんかに出会える。モディカにあるシックな店構えのアンティカ・ドルチエリア・ボナユートはクラシックなチョコレートで有名。海辺の町ノートのカフェ・イタリアーノは、地元素材のみで伝統のお菓子を作っています。ジェラートも格別。周辺の農園地帯に、自家用セーナ機でマルタ島やチュニジアへ足を伸ばせる4ツ星のアグリトゥーリスモもあります。イタリアの良さを知るには、人口3万人以下の小さな町に滞在することを薦めます。同じ町でも、日帰りで行くのと泊まるのでは違い、朝の散策や黄昏時でなければ発見できない美があり、より深い印象を受けられるはず。漁村のバステルの家並み、そこにまつられた聖人像、田園地帯の木立、品ある町の巧みな景観などは、そこに暮らす人々の美意識によって築かれたもの。ガイド本には載らない心打たれる美しい町や村の発見は、イタリア中にあります。旅の醍醐味を感じるなら、裏イタリアIIアドリア海側がおすすめ。プーリアのガルガノ半島は美しく、魚介類も地中海より豊富で美味。ここまで来れば、日本人には出会いません。